

京都市管理の史跡と名勝 —古墳時代から平安時代まで—

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

京都市域には、国や京都府・京以外の4件を含む)は、公益財団の委託を受け、事業を引き継ぐことになりました。今回は、パトローが地元保存団体と協力して維持管をを実施しているなかで、「古墳時代から平安時代までの史跡と名勝」理業務を担当してきましたが、平成27年4月から当研究所が京都市12件を紹介します。(加納敬二)



1 史跡 天皇の杜古墳 西京区御陵塚ノ越町 1922年指定
古墳時代前期に築造された市内で、最も保存状態が良い前方後円墳です。1988・89年の調査で墓石・埴輪が検出されました。



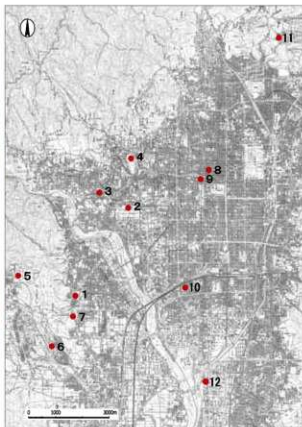
2 史跡 天塚古墳 右京区太秦松木町 1978年指定
古墳時代後期に築造された前方後円墳で、2基の横穴式石室が開口しています。1887年の調査で土器や馬具などが出土しました。



3 史跡 蛇塚古墳 右京区太秦面影町 1977年指定
古墳時代後期に築造された古墳で、巨石で造られた横穴式石室が露出しています。周囲の地割から前方後円墳と推定されています。



4 名勝 雙ヶ岡 右京区御室双岡町 1941年指定
三つの丘からなり、鞍部には20基余りの円墳が知られます。一ノ丘山頂の1号墳は1980年の調査で首長級の大型円墳と判明しました。



今回紹介した史跡と名勝の位置
(地図中の数字は本文の番号に対応します)



5 市指定史跡 大枝山古墳群 西京区御陵大枝山町 2000年指定
古墳時代後期に築造された群集墳で、1980・83・87年に調査され、現在は円墳13基と移築古墳1基が保存されています。



6 市登録史跡 福西古墳7号及び10号墳 西京区大枝北福西町 1989年登録
20数基からなる群集墳で、1970～72年にニュータウン工事に伴い調査されました。10号墳と西隣の7号墳が現地保存されました。



7 史跡 程原廃寺跡 西京区程原内垣外町 1971年指定・1998年追加指定
1966年からの調査で、飛鳥時代の八角形瓦積基壇をもつ塔を中心として中門や回廊・築地が検出され、寺院跡と判明しました。



8 史跡 平安宮跡内裏跡 上京区下立売通千本東入田中町 1979年指定
天皇の居所である内裏を囲む築地回廊で、1973年の調査で西端の一部が明らかになり、東端を含めて史跡に指定されています。



9 史跡 平安宮跡豊楽殿跡 中京区聚楽廻西町 1990年指定・2008年追加指定
豊楽院の正殿である豊楽殿は、1987年の調査で基壇西北隅と清善堂に続く廊を、2007年には清善堂基壇と廊が確認されました。



10 史跡 西寺跡 南区唐橋西寺町 1921年指定・1966年追加指定
1959年からの調査で、金堂・回廊・僧房など主要遺構が確認されました。講堂跡は盛土されて唐橋西寺公園の中に残っています。



11 史跡 栗栖野瓦窯跡 左京区岩倉幡枝町 1934年指定
平安宮・平安京の建物や東寺・西寺の瓦を製造した瓦窯跡で、宮殿に用いられた緑軸瓦や「栗」銘の軒瓦が出土しています。



12 史跡 鳥羽殿跡 伏見区中島御所ノ内町 1978年指定
鳥羽離宮ともよばれます。上皇の後院として南殿・北殿・泉殿・東殿・田中殿に、御所と御堂や広大な庭園が造られました。